



大竹祭



カラスケチ
PART1



10/19
SUN

縁を担ぐ初老みこし

スペイン通り(新町1)～疫神社(元町4)

心配された天候も思いのほか崩れず、無事に大竹祭の日を迎えました。大瀧神社を出立したやっこ行列とみこしは、各地区からの山車と大竹駅前のスペイン通りに集結。12時に元町の疫神社を目指して繰り出します。江戸時代の参勤交代の道中を模したやっこ行列は、「ア、ヨーイナ」「アイヤサノサ」と威勢のいい掛け声を響かせて進みます。

子年と丑年の同級生が担ぐ初老みこしの大うちわに描かれた自転車に乗ったネズミとウシの絵。「自転車を意味するサイクルの円と縁をかけて、みんなとの縁を表しています」と、その意味を教えてくださいました児玉聖さんは、同級生と元気に集まったことを喜んでいました。

「ヤマタノオロチ」「桃太郎の鬼退治」、芝居や伝説、人気キャラクターなどの山車の中、三軒家新栄会は被爆80年で平和を祈る折り鶴をかたどった山車を引き回します。一行は夕刻、疫神社に到着。子どもたちの巫女舞が奉納されました。

※疫神社は「やくじんじゃ」「えきじんじゃ」両方の呼び方があります。

イベントなどで撮影した写真は、
「広報おおたけ」市ホームページ、
市公式SNSや市の刊行物で
使用するほか、マスメディアなど
に提供することがあります。

